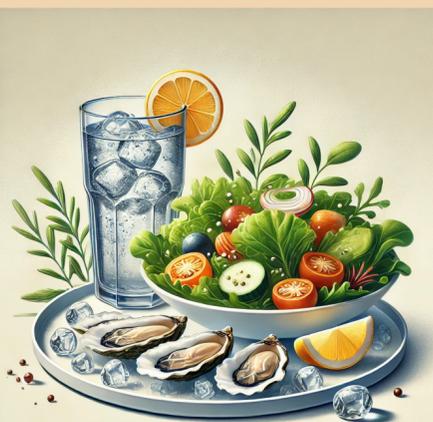


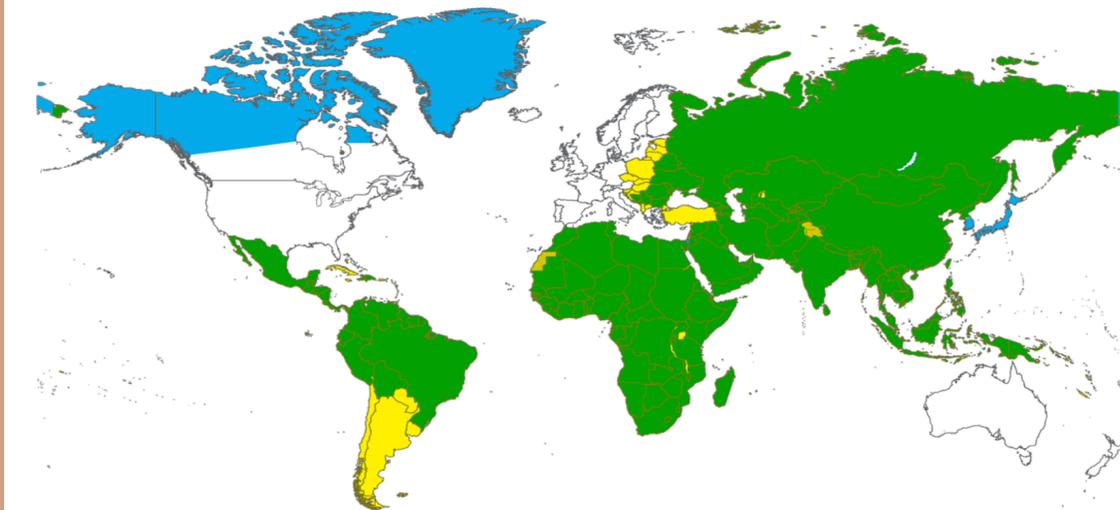
A型肝炎・B型肝炎

A型肝炎：加熱していない野菜や飲み水、魚介類などから感染し、年間140万人が発症している

B型肝炎：感染者の体液から感染
世界では20億人に感染歴があり、現在は約3億5千万人が持続感染の状態にある



危険地域



Adapted from Hepatitis A, countries at risk map, World Health Organization, 2012

● A型肝炎、B型肝炎両方 ● B型肝炎 ● A型肝炎

ワクチンの種類	国内承認 or 輸入	有効期間	接種回数	1回の費用	接種可能年齢
エイムゲン (A型肝炎)	国内承認	3回接種して5～10年程度	3	7,700円	1才～
Avaxim (A型肝炎)	輸入	2回接種して20年	2	15,400円	1才～
ビームゲン・ヘプタバックス (B型肝炎)	国内承認	3回接種して小児は生涯免疫ができるが、成人の接種は10人中2, 3人は免疫ができない	3	5,500円	0才～
Twinrix (AB型肝炎混合ワクチン)	輸入	3回接種してA型肝炎は20年、B型肝炎は生涯	3	15,400円	18才～

スケジュール



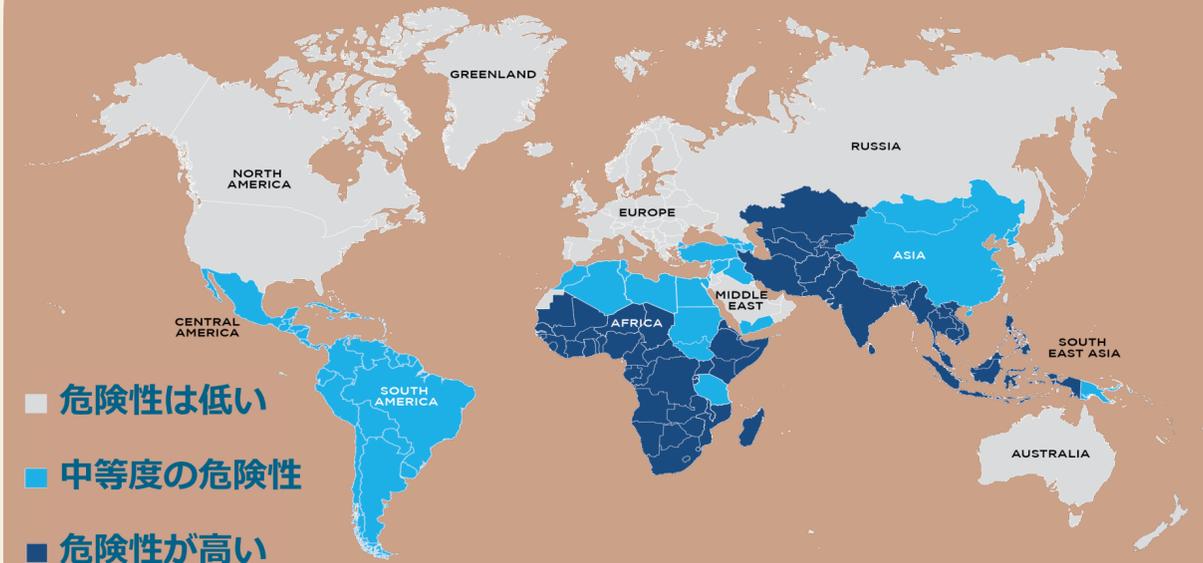
※エイムゲン、Twinrixは急速接種法もある

腸チフス

- ・ 年間1000～2000万人が発症
- ・ 生水、氷、生野菜、生肉などから感染



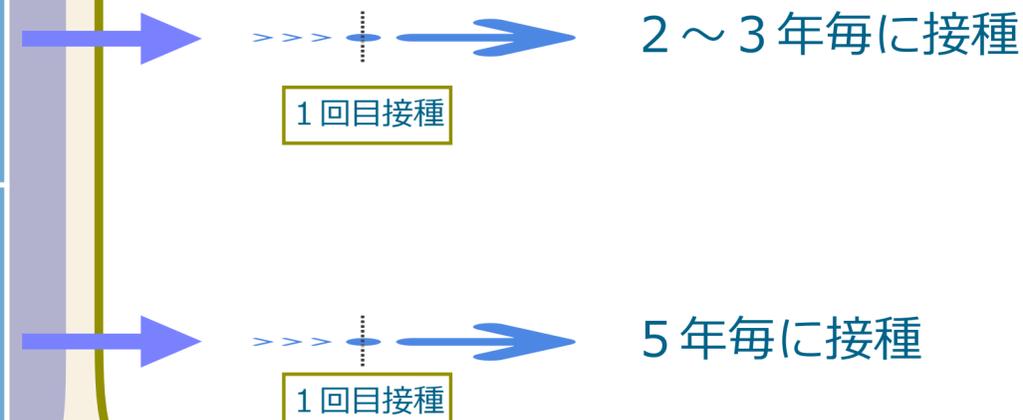
危険地域



adapted from typhoid <https://bewareofthebugs.com/diseases/typhoid/>

ワクチンの種類	国内承認 or 輸入	有効期間	接種回数	1回の費用	接種可能年齢
Typhim Vi	輸入	2～3年 (米国は2年、 WHOは3年を推奨)	1	9,900円	2才～
Typhar TCV	輸入	5年	1	9,900円	生後6ヶ月～ 45才以下

スケジュール



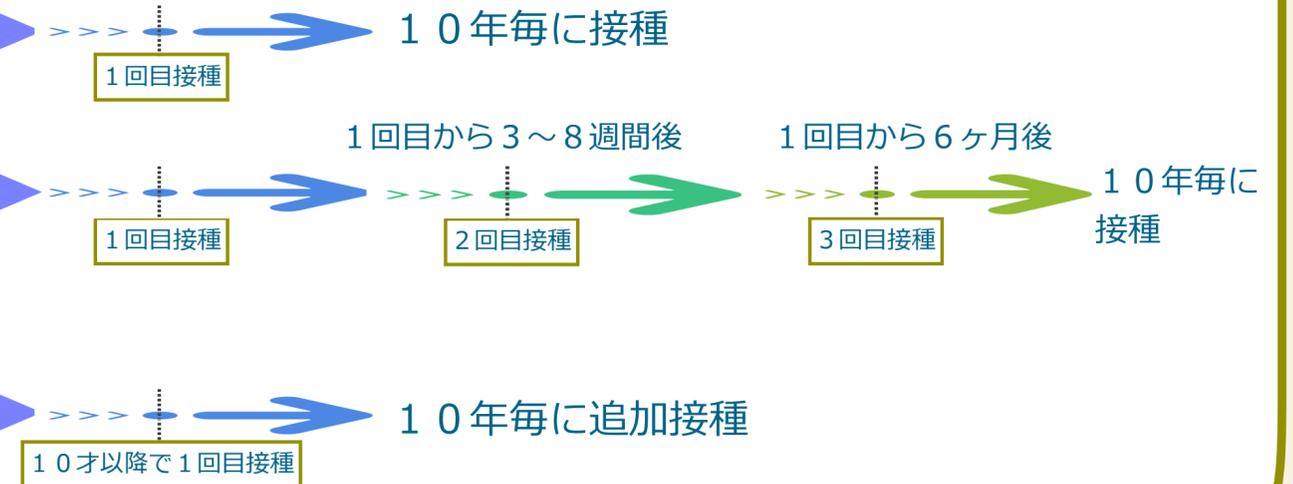
破傷風・百日咳・ジフテリア

- ・百日咳：年間1600万人が発症、死亡者の大半は6ヶ月未満の乳児、日本以外の多くの国では10才以降で成人用3種混合ワクチンTdapを接種。欧米諸国では妊娠中は毎回Tdapの接種が推奨され、赤ちゃんに関わる祖父母も含めて10年以内のTdap接種が推奨されている
- ・破傷風：怪我をしたり動物に噛まれた時、旅行先の不衛生な医療施設などで感染す。10年毎に接種が必要



ワクチンの種類	国内承認 or輸入	有効期間	接種回数	1回の費用	接種可能年齢
破傷風トキソイド (昭和43年以降に生まれて小児期の接種を終えている)	国内承認	10年	1	3,850円	0才～
破傷風トキソイド (昭和43年以前に生まれや小児期の接種を終えていない)	国内承認	追加接種から10年	3	3,850円	0才～
成人用3種混合ワクチン Tdap : Boostrix	輸入	10年 (米国は妊娠27週～36週で毎回接種、留学の際には10才以降で1回接種が必要となることが多い)	1	13,200円	10才～

スケジュール

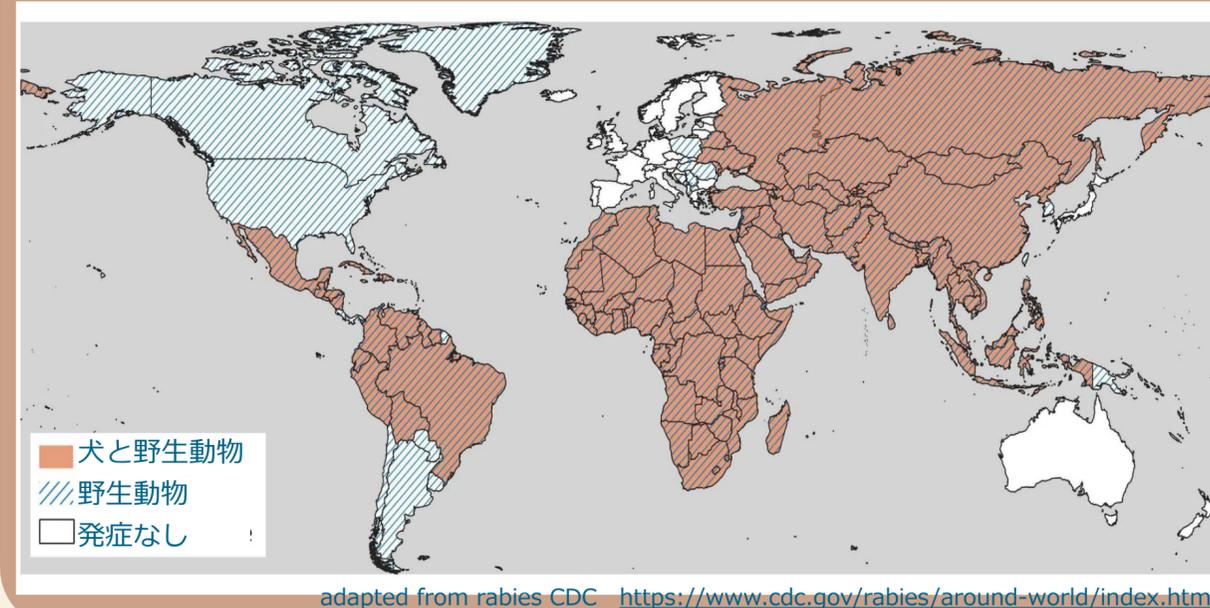


狂犬病

- ・世界中で毎年数万人が発症、発症するとほぼ100%死亡する
- ・感染している動物に噛まれたり、引っかかれたり、傷口を舐められたりすることで感染する
- ・感染する前に接種を行っている事が重要
- ・世界中で狂犬病の発生が無い国は日本を含めて極わずかのみ



危険地域



ワクチンの種類	国内承認 or輸入	1回 接種量	有効期間	接種 回数	1回の費用	接種可 能年齢
ラビピュール (入荷量が少ないため 暴露後接種に使用)	国内承認	1.0ml	追加接種から3~5年程度	4	7,700円	0才~
Verorab	輸入	0.5ml	追加接種から3~5年程度	4	15,400円	0才~

スケジュール

※感染した場合



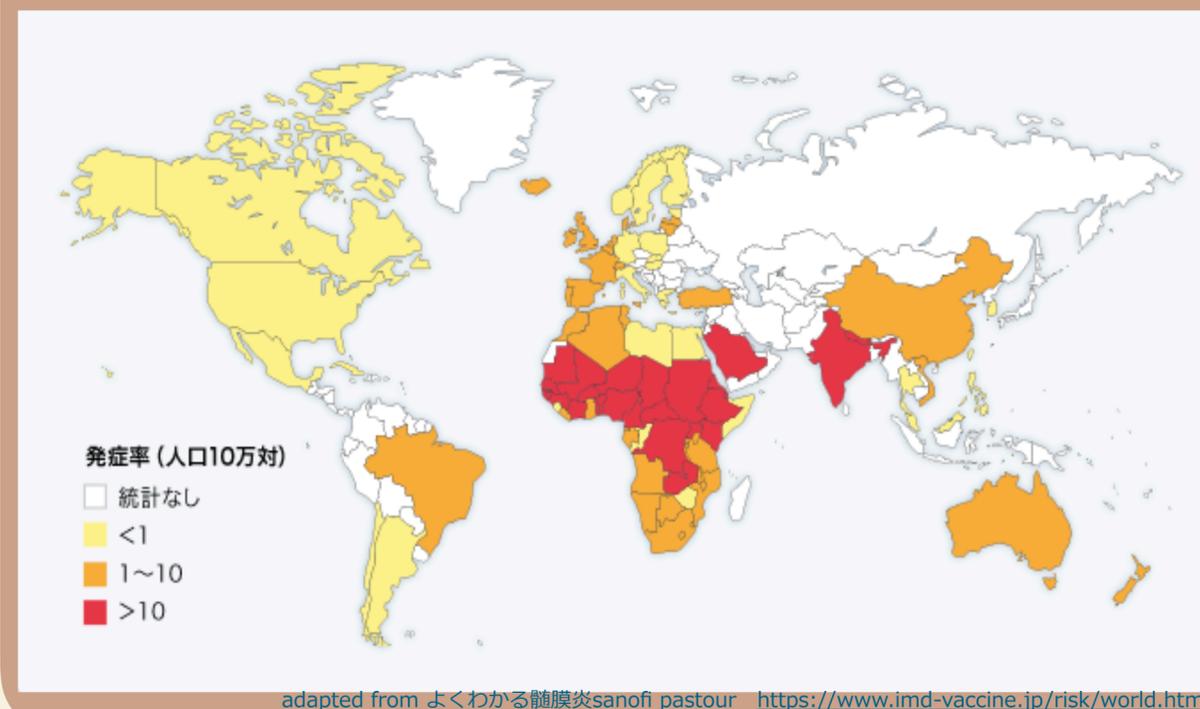
※感染する前（渡航前）



髄膜炎菌性髄膜炎

- ・年間30万人が発症し3万人が死亡する。助かっていても四肢切断などの重度の後遺症を残すことも多い。寮生活等の集団生活ではリスクが数倍となる。（海外だけでなく日本でも） そのため留学で寮に入る時は必須となる。
- ・4価髄膜炎菌：A,C,Y,Wの4種類が含まれる。サウジアラビアのメッカ巡礼の際は接種証明書が無ければ入国できない
- ・アフリカの髄膜炎ベルトに渡航する際も必須となる
- ・欧米ではB群髄膜炎菌ワクチンを乳幼児から接種しており留学の際には4価髄膜炎菌ワクチンに加えてB群髄膜炎菌ワクチンも必要になることも

危険地域



ワクチンの種類	国内承認 or輸入	接種方法	1回の費用	接種可能 年齢
メンクアッドファイ (4価A,C,Y,W)	国内承認	<ul style="list-style-type: none"> ・米国では11-12才で1回目、16才で2回目 ・13-15才で1回目を接種した場合は16-18才で2回目 ・16才以上で1回目を接種した場合は2回目の規定はないが危険性が高い場合は5年毎に接種 	23,100円	2才～
Bexsero (B群髄膜炎菌)	輸入	<ul style="list-style-type: none"> ・留学などの際は1ヶ月以上あけて2回 ・0歳時で接種するときは生後6週以降で1回目、8週間あけて2回目、2回目から8週間以上あけて1才で3回目 ・1回目が1才の時は8週間あけて2回目 	28,600円	0才～

髄膜炎菌髄膜炎の発症後経過

15～16歳の患者の場合
発症後の時間

0～12時間

13～20時間

21時間～



- ・発熱
- ・頭痛
- ・嘔吐

- ・項部硬直
- ・光過敏症
- ・皮下出血

- ・意識障害
- ・けいれん発作

ダニ媒介性脳炎

- ・ 世界では年間1万から1万5千人が発症
- ・ ロシア東部や北海道で検出されている極東型は一番予後が不要であり、致死率が35%
- ・ 日本では2024年までに北海道で7人の発生
- ・ マダニにかまれる可能性が高いキャンプ、登山、林業などでは接種が推奨される



危険地域



adapted from globalhealthpress risk map forTBEV <https://tbenews.com/tbe/tbe12c/>

ワクチンの種類	国内承認 or 輸入	有効期間	接種回数	1回の費用	接種可能年齢
タイコバック (ファイザー)	国内承認	追加接種からは60才未満は5年毎に追加接種、60才以上は3年毎に追加接種	3	15,400円	16才以上
タイコバック小児用 (ファイザー)	国内承認	追加接種からは60才未満は5年毎に追加接種、60才以上は3年毎に追加接種	3	15,400円	1才から16歳未満
FSME-IMMUN (ファイザー：タイコバックと同じ物)	輸入	追加接種からは60才未満は5年毎に追加接種、60才以上は3年毎に追加接種ない	3	13,200円	16才以上
FSME-IMMUN junior (ファイザー：タイコバック小児用と同じ物)	輸入	追加接種からは60才未満は5年毎に追加接種、60才以上は3年毎に追加接種	3	13,200円	1才から16才未満

スケジュール

※通常の接種スケジュール

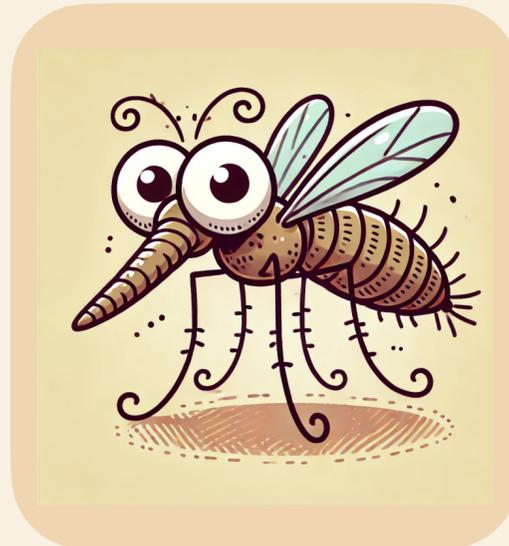


※急速接種のスケジュール

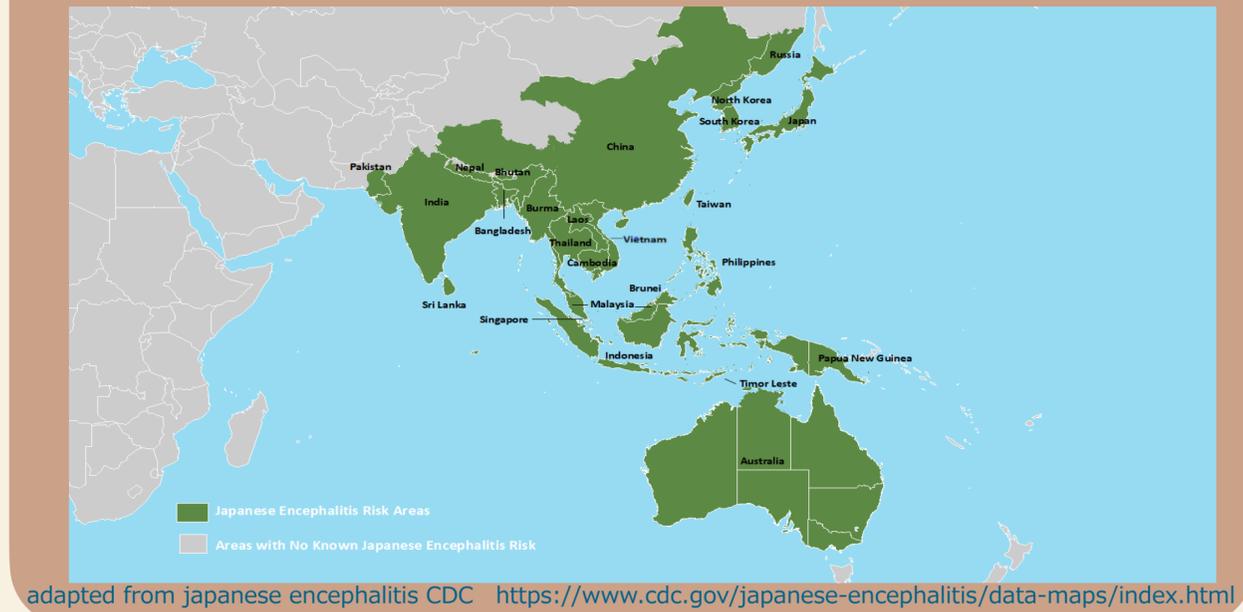


日本脳炎

- 日本では1976年から定期接種となっていますが、北海道が定期接種となったのは2016年からです。そのため北海道出身者の成人はほとんどの人が未接種となっています。
- 1960年代までは国内でも年間数千人発症していたが、現在は国内は年間10人以下まで減少している
- アジアが危険地域の中心だが、近年はオーストラリア北部で発生が続いている
- 北海道には日本脳炎を媒介する種類の蚊がいないが、北海道以外には多く存在する



危険地域



ワクチンの種類	国内承認 or 輸入	有効期間	接種回数	1回の費用	接種可能年齢
ジェービック エンセバック	国内承認	追加接種から10年程度	3	6,600円 (定期接種外の場合)	生後6ヶ月～
IMOJEV (Sanofi) IXIARO (GSK) JEVAX (中国製)	輸入	※当院では取扱がありません。 生ワクチンで日本の不活化ワクチンとは互換性がないため注意が必要	2	※取扱なし	0才～

スケジュール

※子どもの定期接種の場合：生後6ヶ月から接種可能



※今まで接種したことがない成人の場合



ポリオ（急性灰白髄炎）

- WHO（世界保健機構）はポリオウイルスの世界的な広がりに対して「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言している
- リスクが高い国に渡航する人で10年以内に接種がない場合は追加接種が推奨される
- 1975年から1977年生まれの人は抗体が少ない可能性があり、2010年から2012年生まれの方は接種をしていない人がいます。
- 成人や特に妊娠中は重症化する可能性があります。

ワクチンの種類	国内承認or輸入	有効期間	接種回数	1回の費用	接種可能年齢
イモバックスポリオ (不活化ポリオワクチン)	国内承認	追加接種から10年程度 成人で未接種の場合は3回接種 小児は4才以降で追加接種が推奨	3	9,900円 (定期接種外の場合)	生後3ヶ月～
4種混合ワクチン 5種混合ワクチン 6種混合ワクチン	国内承認 (6種混合は発売前)	小児の定期接種として接種	2	4種混合 10,450円 5種混合 20,350円	生後2ヶ月～

危険地域

ポリオ発生国※¹ (2023年)

野生株ポリオウイルス



ワクチン由来株ポリオウイルス



adapted from もっと知りたいポリオ <https://www.vaccine-net.jp/risk/index.html>

スケジュール

※今まで接種したことがない成人の場合



危険性が高い場合は10年毎に追加

带状疱疹

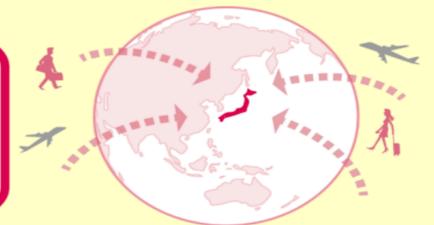
- ・子どもの頃に水ぼうそうにかかると、その後一生神経にウイルスが残ります。50才を過ぎて免疫が下がってきたり、若い人でもストレスなどがきっかけで水ぼうそうウイルスが神経にそって悪さをし、発疹が出る状態を带状疱疹という
- ・80才までに3人に1人は带状疱疹を発症する
- ・年齢が上がってくると2割から3割の人は带状疱疹後疼痛（数ヶ月激痛が続く）を発症する

ワクチンの種類	国内承認or輸入	有効期間	接種回数	1回の費用	接種可能年齢
イモバックスポリオ (不活化ポリオワクチン)	国内承認	追加接種から10年程度 成人で未接種の場合は3回接種 小児は4才以降で追加接種が推奨	3	9,300円 (定期接種外の場合)	生後3ヶ月～
4種混合ワクチン 5種混合ワクチン 6種混合ワクチン	国内承認 (6種混合は発売前)	小児の定期接種として接種	2	4種混合 10,450円 5種混合 20,350円	生後2ヶ月～

危険地域

ポリオ発生国※1 (2023年)

野生株ポリオウイルス



ワクチン由来株ポリオウイルス



adapted from もっと知りたいポリオ <https://www.vaccine-net.jp/risk/index.html>

スケジュール

※今まで接種したことがない成人の場合



危険性が高い場合は10年毎に追加